

10月の野菜の見通し

令和4年9月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	10,629	少ない	11,630	91	110%	89	28	0.3%	北海道・青森産は長雨による品質・数量の低下を抜けて潤沢な出回りに。道産は終盤になり減少するも、後続の千葉産が生育順調で増量傾向となる。予想入荷量は前年をわずかに上回り平年並み。見通し単価は平年を1割上回る。
はくさい	15,288	並み	17,253	63	103%	69	1	0.0%	長野産が最盛期となり増量。後続の茨城産が生育順調で月後半に増量傾向となる。茨城では作付減の部分あり、予想入荷量はやや少なかった前年並みで平年を下回る。見通し単価は前年並みも平年をやや下回る。
キャベツ	17,069	多い	17,775	77	84%	77	0	0.0%	群馬産は生育順調で、盛期過ぎ出方が落ち着いてくる。後続の千葉・茨城産も生育順調で月後半に増量してくる見込み。全体量は前年・平年を若干上回り数量潤沢。見通し単価は前年・平年を1割以上に下回る。
ほうれんそう	1,459	並み	1,353	498	100%	573	3	0.2%	群馬・茨城産、関東産が作付・生育とも順調で潤沢な出回りが見込まれる。予想入荷量は多かった前年並みで平年をやや上回る。見通し単価は前年並みで平年を1割下回る。
ねぎ	4,934	並み	5,222	260	135%	348	404	8.2%	東北産は前段の大雨の影響で作柄は良くないが回復傾向は見られる。上旬は稲刈り作業あり数量少なめも、中旬からは回復してこよう。予想入荷量は少なかった前年並みで平年をやや下回る。見通し単価は安かった前年を上回るも平年並み。

10月の野菜の見通し

令和4年9月30日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント***
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	5,767	並み	5,722	268	112%	348	126	2.2%	各地、生育は概ね順調。東北・関東産が月前半は潤沢な出回り。後半は東北産が最終盤となり減少。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価は安かった前年を上回るも平年並み。
なす	2,898	並み	2,743	273	110%	351	10	0.3%	関東産の残量ある中、西南暖地産は早めの出荷傾向のため全体量は十分にある見込み。予想入荷量はやや多かった前年並みで平年を上回る。見通し単価は安かった前年を上回るも平年を1割以上に下回る。
トマト	5,825	並み	5,747	398	106%	458	95	1.6%	中旬までは東北・北海道産の残量と関東産のピークがあり数量はまずまずあるも、以降は東北・北海道産が終盤で減少。関東産は前段の暑さによる着果不良が一部あり。予想入荷量は前年・平年をやや下回り、見通し単価は前年以上も平年をやや下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)